

# 生衛ふくおか

(2024年新年号)

公益財団法人福岡県生活衛生営業指導センター

福岡市博多区千代1-2-4

T E L 092-651-5115

F A X 092-651-5147



ホームページ

## 新年のごあいさつ

福岡県知事

服部 誠太郎



新年あけましておめでとうございます。

公益財団法人福岡県生活衛生営業指導センター及び生活衛生同業組合の皆さまにおかれましては、県民の健康で衛生的な生活を支えるため生活衛生関係業界の発展および公衆衛生の向上にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、エネルギー価格や原材料価格の高騰対策等を実施するとともに、7月の梅雨前線豪雨災害に伴う、災害箇所への迅速な復旧、被災された皆さまの生活支援、農林漁業・商工業者の皆さまの事業再開・継続の支援などに全力で取り組みました。

そして、前を向き、世界を見て、未来を見据えて、福岡県を成長・発展させていくため、「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」、「福岡半導体リスクリリングセンター」、「水素大規模拠点の構築」などの新たな取組をスタートさせました。

今年は辰年です。県民の皆さまの命と健康、生活を守ることを第一に、「1000億円の人づくり」、「県内GDP20兆円への挑戦」、「安全・安心で活力ある社会づくり」に取り組み、天をかけ昇る竜のように勢いよく、福岡県の成長・発展を加速させてまいります。

市町村や企業、NPOなど多様な主体と連携し、未来を担う青少年を育成するとともに、これまで女性の進出が少なかった分野への就業促進、キャリア形成支援を強化し、女性活躍を推進します。

また、中小企業の持続的賃上げに向け、価格転嫁の円滑化や生産性の向上などを支援し、賃金と物価の好循環を実現します。

さらに、ワンヘルスセンターの整備などにより、本県をワンヘルスの世界的先進地に押し上げるとともに、「出産・子育て安心基金」を活用した少子化対策、障がいのある方の自立と社会参加、困難を抱える女性への支援などを実施します。

こうした施策を通じ、「誰もが安心してたくさんの笑顔で暮らせる福岡県」の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新年が皆さまにとって、素晴らしい一年となりますよう心からお祈りいたします。

## 新年のごあいさつ

福岡県生活衛生営業指導センター理事長

新井 眞一



新年あけましておめでとうございます。

生活衛生営業者の皆さまには、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また平素より当指導センターの事業に対しまして、ご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

依然として、燃料や原材料の価格高騰等による厳しい経営状況は続いているものの、新型コロナウイルス感染症については、昨年5月8日から感染症法上の位置付けが「5類」に変更され、3年超にわたる閉塞感に包まれた生活から徐々に通常へと戻りつつあります。

最近では、観光地の賑わいも戻ってきている、或いは、自粛されていた祭りやイベントが再開されたといった話も良く聞くようになりました。

また、内閣府が毎月公表している月例経済報告においては昨年5月以降、景気の基調判断が「緩やかに回復している」に引き上げられました。この「緩やかに回復」という表現が使われるのは、新型コロナウイルスによる感染が拡大する前の2020年2月以来だそうです。コロナ禍で、特に厳しい環境下におかれた私たち生衛業に携わる者にとっては、今後更なる社会経済活動の活性化を期待するものです。

一方、コロナ禍を経験するなかで、人々のライフスタイルや価値観、消費者の行動等が大きく変化し、社会や企業においてデジタル化への機運が高まってきております。例えば、人との接触を回避することが求められる中、電子マネーなどに対応したキャッシュレス決済の導入やSNSを活用した効果的なホームページの構築など、コロナ禍を逆手に取った新システムの導入に果敢にチャレンジし、成果を上げられた事業者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

指導センターといたしましては、今後とも、厳しい環境下にある個々の営業者の方に寄り添った支援を行ってまいります。さらに、IT技術を活用して、コスト削減や経営の効率化を図ろうとする営業者の取組を全力でサポートしていくこととしております。こうした取組を通じ、引き続き、公益法人としての社会的信用の確保に努めるとともに、生衛業界の更なる発展に尽力してまいります。

最後になりましたが、皆さまにとって、今年一年がより良き年となりますようご祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

# ～ 叙 勲 ・ 表 彰 (令和5年度) ～

永年にわたり生活衛生業界の発展に功労のありました次の方々を受章、表彰されました。  
誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

## 令和5年秋の叙勲 旭日単光章

中 島 憲 一 様 福岡県美容生活衛生同業組合 副理事長

## 厚生労働大臣表彰

小副川 浩 二 様 福岡県理容生活衛生同業組合 理事長

川 西 勝 雄 様 福岡県美容生活衛生同業組合 理事

## 全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰

宮 定 貴 子 様 福岡県興行生活衛生同業組合 理事

竹 野 孔 様 福岡県飲食業生活衛生同業組合 理事長

森 山 藤 子 様 福岡県美容生活衛生同業組合 理事

### 【福岡県知事表彰 8名】

《理容》 佐保 則行  
《美容》 吉浦 妙子  
" 吉田 信治  
《クリーニング》 松熊 啓治  
《旅館ホテル》 樋口 真大  
《飲食業》 山下 正士  
" 山本 弘秀  
《社交飲食業》 柴田 克行

《理容》 柴田 英明  
" 苅野 年明  
《美容》 矢野 奈輔美  
《旅館ホテル》 本田 一郎  
《飲食業》 前田 剛志  
" 甲斐 幹弘  
" 毛利 春美  
《社交飲食業》 佐々木 三枝子  
" 荒牧 美弥子

《美容》 森川 澄江  
" 寺岡 恵  
" 篠崎 真理子  
" 酒見 昌史  
" 林 一成  
" 溝口 収一  
" 大西 清司  
" 上之原 慶子  
" 田上 恵美子  
" 村田 武

### 【福岡県知事感謝状 13名】

《理容》 藤崎 祐司  
" 吉原 信行  
《美容》 内野 琢巳  
" 常村 昌三  
《クリーニング》 磯田 繁之  
《旅館ホテル》 島添 恒男  
《飲食業》 打越 英治  
" 林田 三郎  
" 二ノ宮 武彦  
" 津留崎 雅俊  
《社交飲食業》 長岡 幸廣  
《喫茶飲食》 秋本 百合子  
《すし商》 渡邊 悌志

### 【連絡協議会会長表彰 43名】

《理容》 千原 洋  
" 久保 政生  
" 渡辺 美智子  
" 迫田 准  
" 石橋 淳  
" 柴田 武志  
" 廣 實 清  
" 稲富 稔勝  
" 河野 泰典  
" 東納 貴雄  
" 本間 新一郎  
" 緒方 良治  
" 堤 源四郎  
" 福田 静子  
《美容》 安本 光志  
" 三浦 美枝子

" 江崎 美枝  
" 山口 欽子  
" 平坂 京子  
" 白石 博子  
《料理業》 中野 哲治  
《飲食業》 植松 夕紀子  
" 森山 美樹  
" 都留 文博  
" 東屋 司  
" 草野 辰子  
" 門司 将司  
" 石橋 宏高  
《社交飲食業》 下迫 勉  
" 内海 裕子  
" 松井 トモエ  
《喫茶飲食》 東原 昭弘  
《すし商》 吉田 信二

### 【保健医療介護部長感謝状 10名】

《理容》 山口 直美

(敬称略)

# 指導センターからのお知らせ

## ご商売のお困りごとを専門家が解決 – 経営支援緊急対策事業 –

当センターでは、令和2年度から営業者の方のお困りごとを解決するため、専門家が支援する「経営支援緊急対策事業」を行っています。この事業は、①専門家を講師とする研修会・相談会の開催、②専門家がお店に出向いて相談を受ける「出前相談」という2本立てです。今年度に行った事業の一端をご紹介します。何かお困りごとがありましたら、ご相談ください。

### ①飲食・社交業向けインボイス相談会の開催

令和5年10月にインボイス制度がスタートしました。飲食業の営業者からの要望を受けて、料飲業生活衛生組合連合会北九州支部と共催で、11月10日、「インボイス相談会」を開催しました。



参加者から多くの質問が寄せられました

税理士の河上康洋先生を講師にした相談会は、事前に寄せられた質問に講師が回答するQ&A形式で行ないました。相談会では、次のような質問と回答がありました。

Q 登録後、消費税はいつ納付するのですか

A 個人事業主の場合、インボイスを登録した日～12月31日までの消費税を翌年3月31日までに申告納税します。

Q 登録事業者の負担軽減措置を教えてください

A 「2割特例」という措置があります。免税業者がインボイス開始を機に登録した場合、2026年9月30日までの日が属する期間は、納税額は売上消費税の2割に軽減されます。

これ以外にも多くの質問があり、専門家がわかりやすく解説されました。終了後には、個別相談会も行いました。参加者から好評で、「とてもわかりやすかった」「インボイスがやっと理解できた」という声が寄せられました。

### ②専門家とマンツーマンで問題解決

「出前相談」は、中小企業診断士などの専門家が出向いて、営業者の方からお困りごとを聞いて解決を図るというものです。

福岡市中央区でショットバー「Bar Raffine(ラフィネ)」を令和5年5月に開業した古賀英揮さん。SNSを利用して集客力をアップしたいという相談があり、中小企業診断士の原田智弘先生に対応を依頼しました。

お店に伺い、誰に対して、どういふ情報を発信したいのかをお聞きして、Instagramの利用方法について、実際にスマートフォンを使いながら指導しました。さらにInstagramのいろいろな機能(ストーリーズ、ハイライト、ライブ配信など)についても、具体的に説明しました。

3回にわたる指導の結果、Instagramによる発信が格段に向上し、フォロワー数も着実に増えています。相談者の古賀さんは、「専門家の方に体系立てて教えてもらったので、理解が進みました。これからもどんどん発信していきます」と手応えを感じておられました。



bar\_ Raffine\_0510のプロフィール画面

## 後継者育成支援事業の実施

太宰府特別支援学校において、10月24日にお菓子作り教室を、11月14日にはケーキ作り教室を開催しました。生徒たちは、お菓子やケーキ作りを通じて、もの作りの楽しさを体験しました。

また、11月21日には、こぼ珈琲(福岡市中央区)において、福岡教育大学附属福岡中学校の生徒たちを対象に開催し、珈琲の入れ方や接客マナーを体験し、接客は「相手に対する思いやり」であること等を学びました。



## 経営特別相談員研修会の開催

11月20日、中小企業振興センターで、経営特別相談員研修会を開催しました。研修会には21名の参加があり、以下のテーマについて、学びました。

参加者からは、「働き方改革を進めるうえで勉強になった」「SNSによる発信についてはもっと学びたい」という声が寄せられました。



<研修テーマ>

- ①生衛業における人材の採用・育成・定着
- ②スマホを活用した集客力アップのポイント
- ③生活衛生改善貸付の推薦書作成のポイント

# 組合活動推進月間に係る行動計画の策定

- 10月30日、生衛組合が主催し、各組合の理事長で構成する「生活衛生同業組合活動推進会議」と指導センターが主催する「衛生水準の確保・向上事業推進会議」を開催し、本年度の組合活動推進月間に係る行動計画について議論が行われました。
- 会議において、組合活動の更なる活性化を図っていくためには、新規組合員の加入促進対策並びに人材育成対策の強化・充実が重要であるとの認識を改めて共有し、今後の組合活動にどう反映していくか、各組合で、それぞれの実情を踏まえ、議論を深めていくこととされました。
- また、全国センターが、組合加入者に行ったアンケート調査の結果をみると、実際に加入してみて、加入時の期待以上に大きなメリットと感じた項目として、「同業者との人脈づくり」や「経営上の指導相談」等が掲げられていました。
- この結果は、今後の加入勧奨活動に活用するとともに、日々の組合活動にも生かし、組合員が組合に入って良かったと実感できるような取組を進めていく必要があるとの指摘がなされました。

	加入時に期待した割合		加入でメリットを受けた割合
①「同業者との人脈等」	41%	⇔	82%
②「講習会等参加」	34%	⇔	63%
③「情報の入手」	36%	⇔	62%
④「日本政策金融公庫の融資」	33%	⇔	56%
⑤「経営上の指導相談」	11%	⇔	53%
⑥「共済事業加入」	12%	⇔	53%



## コラム 経営あれこれ

# 全員経営へ繋げる「お金のブロックパズル」

目の前の事に忙殺されてしまい、そもそも何のために「経営」をしているのかわからなくなっていませんか？ お金を稼ぎ、還元し、投資する。お金のサイクルは、関わる全ての方へのお役に立ち繋がっているはず。経営者の皆様の不安が軽減され、発展のためのヒントになれば幸いです。



中小企業診断士  
渡辺 日菜子 氏

### ①お金を分解し、ブロックパズルに分けていく

自社の「儲け」はどんな形になるのかを、売上・変動費(売上に応じて掛かる経費)・粗利(ここでは売上から変動費を引いたもので定義しています)・固定費(売上があっても無くても掛かる経費として、人件費とその他で分ける)・利益と7つのブロックに分けていきます(右図参照)。自社の数字を図示化して、「見える化」しましょう。

### ②ブロックパズルを着眼点に、経営をより良くするための対話を

“売上＝儲け”ではありません。ただ、そこを理解できている従業員の方は多くありません。私自身、「稼いだお金は社長が全て使い込んでいる」「この会社は、いくら頑張っても社員には還元されない」と従業員側から多くの「誤解」を聞いてきました。

図 お金のブロックパズル



※「お金のブロックパズル」は、西順一郎氏 著「戦略会計 STRAC II」のSTRAC表を加筆引用されたものを(一社)日本キャッシュフローコーチ協会 代表理事 和田達也氏がアレンジしたものです。

会社のお金の構造が理解できていない社員に対して、まずは自社の経営はどんな「形」になっているかを伝え、未来志向の会議で対話を実施します。

いかがでしょうか？

会社の発展には、経営者の方だけがお一人悩む状況から、従業員の方も巻き込んで知恵を出し合える環境づくりをお勧めします。その為の、一つのツールとして今回はお金のブロックパズルをご紹介します。貴社の価値向上を心より祈念しております。

プロフィール: (わたなべ・ひなこ)  
株式会社日乃目 代表取締役/中小企業診断士  
関西大学経済学部卒業 医療介護機器製造業で営業職に従事後、香川県にて開業。経営者と従業員の間に繋ぐようなモチベーションアップや営業研修など、対話を通してコミュニケーションを活性化する手法を得意とする。